

Weszeli

ヴェスリ Bio

ワイン造りの根底にあるのは、自然なブドウ栽培にサスティナビリティの概念を取り入れた「テラファクトウム」という独自のコンセプト。果実の暖かさや濃厚さといったカンパタルの魅力を持ちながら、あくまでもエレガントでピュアな酸とミネラルが光るワインを造る。



オーストリア カンプタル、ランゲンロイス

オーストリアはアルプスのイメージから冷涼な国と思われがちで、実際ブルゴーニュのボースからシャンパーニュのランスに相当する北緯47°48度帯にあるものの、16を数えるブドウ産地は温暖な東部に集中している。地形は東に行くほど平原になり、パンノニア平原からの暖気によって気候も暖かい。一方で、ブドウ産地北西のエリアでは冷気が山を越えて降りてくるため、季節間と日中間の寒暖の差がひととき大きくなる。この北西エリアにおいてオーストリアの神髄ともいえるグリュナー・フェルトリーナー(以後GV)とリースリングの最高の産地となるのがヴァッハウ、クレムスタル、カンパタルの三つである。

この内最も東に位置するカンパタルは、温暖で雨量も若干多く、分厚いロス(黄土)が堆積する比較的肥沃な土壌を持つことから、リースリングと比べて高い温度を好み、湯水を嫌うGVにとってまさに理想の産地と言える。石がちなヴァッハウにみられる強固なタイトさはなく、程よいバワフル感がありながらも染み入る様な旨味・塩味があり、上品な酸とミネラルが織りなす絶妙なコンビネーションが楽しめる。ヴァッハウが世界中の愛好家の舌をうならすオーストリアワインのフロントランナーであることに議論の余地はないが、GVの個性を最大限引き出す土壌という点ではカンパタルの右に出る産地はないと言っても過言ではない。それでいて、ヴァッハウよりもはるかに良心的な値段で入手できるとなれば注目しない理由はない。



この地区で最も重要なエリアはランゲンロイス村であり、この地にワイナリーを構えるのがヴェスリである。建物の起源は1679年まで遡ることができ、代々ゾンマリヤー家によって引き継がれてきた。当時は農業を営んでいたが1900年代後半にブドウ栽培のみに焦点を絞り、ワイナリーに改築した歴史を持つ。現オーナーであるデイヴィス・ヴェスリはこの地に魅せられた一人で、足しげくカンパタルに通う内にゾンマリヤー家と知り合い、意気投合。2011年にワイナリーを購入するとともに「ヴェスリ」に改名し、新体制のもとでスタートした。

ワイン造りの根底にあるのは、従来よりゾンマリヤー家が行ってきた自然なブドウ栽培にサスティナビリティの概念を取り入れた「テラファクトウム」という独自のコンセプト。ワインの個性が形成されるのは畑であるため、そこに息づく多様な生物を育み尊重することが品質に直結すると考える。例えば、希少な渡り鳥の一種であるヤツガシラのために巣箱を設置しているが、暖かい気候を好む彼らの習性のため所有畑の中でも急斜面で南向きの石垣で囲われた温暖なシェンケンビヒルを選んでる。除草剤や化学肥料は1990年から使っておらず、2015年よりオーガニック栽培に転向した。

現在畑は村の周辺約30haに広がり、GVとリースリングを栽培している。土壌は大部分がロス(黄土)だが、一部角閃岩や石灰岩も見られる。ブドウは全て手で収穫され、空気圧式で全房を丁寧にプレス。その後、温度管理機能付きのステンレスタンクで天然酵母により自然発酵が始まる。熟成は区画ごとに行われステンレスタンクと一部の上級キュヴェには古い大樽も用いる。



繊細優美なヴァッハウにはない、果実の暖かさや濃厚さといったカンパタルの魅力を持ちながら、あくまでもエレガントでピュアな酸とミネラルが光るヴェスリのワイン。WA初掲載時に「間違いないクーダーエスタライヒ州の中で最も上質で興味深いワインの一つであり、熟成のポテンシャルは偉大である」と大絶賛を受ける。近年ようやくカンパタルの名は耳にするようになってきたものの、まだまだ世界の注目がヴァッハウに集中している中、驚くほどの品質をリーズナブルに楽しめるヴェスリのワインは、まさに今買うべきオーストリアワインである。

グリュナー・フェルトリーナー・フェリックス 2018 Gruner Veltliner Felix



定番 希望小売価格 ¥2,400

- 産地: Niederosterreich
- 品種: グリュナー・フェルトリーナー100%
- 熟成: ステンレスタンク6ヶ月
- 評価: ー
- アルコール度数: 11.5%

ランゲンロイス村周辺の4ha。標高250m、南東-南西-南向きの大部分がロス土壌の畑。樹齢は平均10年。魅力的なスパイスやベッパ、シトラスフルーツ、ハーブ、リンゴ類のフルーツのアロマ。クリスピーでスリムな印象、生き生きとしたレモンピール、グレープフルーツのニュアンス。直線的な味わい。ヴェスリが手掛けるエントリーワイン。

グリュナー・フェルトリーナー・ランゲンロイス 2018 Gruner Veltliner Langenlois



定番 希望小売価格 ¥2,700

- 産地: Kamptal
- 品種: グリュナー・フェルトリーナー100%
- 熟成: ステンレスタンク6ヶ月
- 評価: ー
- アルコール度数: 12%

ランゲンロイス村周辺の11ha。標高は250-280m、南向きのロス土壌の畑。樹齢は平均30年。オレンジの皮、ハーブ、そしてリンゴのニュアンスを持つクリーミーなアロマ。素晴らしいクリスピーで、生命力にあふれ、わずかに白いワンのノートも感じられる。ジュージーで生き生きとした果実味で、シトラスフルーツ、マルメロを感じさせるフィニッシュ。美しく流れるようなミディアムボディ。ハーモニー(調和)のワイン。

グリュナー・フェルトリーナー・プールス 2016 Gruner Veltliner Purus



限定 希望小売価格 ¥4,300

- 産地: Kamptal
- 品種: グリュナー・フェルトリーナー100%
- 熟成: ステンレスタンク(50%)&大樽(50%)で澱と共に20ヶ月
- 評価: WE95, Falstaff91
- アルコール度数: 12.5%

ランゲンロイス村の南西、キツマンズベルクにある1.5ha。標高は280-345m、南東向きロス土壌の畑。樹齢は平均50年。シトラスやグレープフルーツ、ハーブや黄色いリンゴのアロマ。マルメロやかすかなスパイスのニュアンス、バランスが良く生き生きとしたボディ。上品な果実味、ストラクチャーのあるタンニン、強固で堅牢なフィニッシュ。

グリュナー・フェルトリーナー・ケーファーベルク 2015 Gruner Veltliner Kaferberg



限定 希望小売価格 ¥6,800

- 産地: Kamptal
- 品種: グリュナー・フェルトリーナー100%
- 熟成: 大樽で澱と共に20ヶ月
- 評価: ー
- アルコール度数: 13%

ランゲンロイス村の北にある0.5ha。標高310-345m、南と南東向き、石灰岩土壌のグラン・クリュ級の畑。樹齢は平均44年。初めは少しシャイだが、同時にエレガントなアロマを感じる。桃やアプリコット、ヴァニラやアーモンドの上質でクリーミーなノート。口の中ではジュージーで、果実味が花開き、それぞれの要素が際立っていて力強い。エレガントでありながら非常にストラクチャーがある。長期熟成のポテンシャルを見ることが出来る。

グリュナー・フェルトリーナー・シェンケンビヒル 2016 Gruner Veltliner Schenkenbichl



限定 希望小売価格 ¥5,900

- 産地: Kamptal
- 品種: グリュナー・フェルトリーナー100%
- 熟成: ステンレスタンク(1/3) &大樽(2/3)で澱と共に20ヶ月
- 評価: WE94, Falstaff92
- アルコール度数: 12.5%

ランゲンロイス村の北西にある0.9ha。標高230-315m、南東向き、ロス土壌に角閃岩が混じるブルミエ・クリュ級の畑。樹齢は平均46年。誘うような芳醇なアロマ、クリーミーでヴェルヴェットのようなスタイル。ビスケットや砂糖漬けのフルーツ、焼いたリンゴに上質なスパイス、黒こしょう、ナッツのニュアンス。口の中ではエレガントだが熟した果実味が楽しめ、甘くスムーズなテクスチャーを持つ。非常にバランスの良いアフター。